

2022年1月吉日

介護事業所・介護ロボット開発企業・介護関連団体 各位

東北 Kaigo-Tech 実践研究会  
事務局責任者 足立圭司

## 東北 Kaigo-Tech 実践研究会 設立のご案内

拝啓 時下益々ご発展のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、この度以下の趣意に基づき、「東北 Kaigo-Tech 実践研究会」を設立することとなり、添付の通り、第1回研究会を開催いたしますことをご案内申し上げます。

なお、本研究会は、厚生労働省「介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業※」内に設置された青森県相談窓口（社会福祉法人 青森県社会福祉協議会 青森県介護啓発・福祉機器普及センター）、岩手県相談窓口（公益財団法人 いきいき岩手支援財団 岩手県高齢者総合支援センター）、東北大学青葉山リビングラボ（国立大学法人東北大学 大学院工学研究科ロボティクス専攻ロボットシステム講座 知能機械デザイン学分野）の取組の一環として行われ、別紙のとおり設置する世話人会によって企画・運営されます。

敬具

### 【設立趣意】

現在、我が国の少子高齢化は、世界に類を見ない速度で進行しており、介護人材不足が大きな課題となっています。介護分野の人材を確保する一方で、限られたマンパワーを有効に活用しつつ、高齢者の自立支援を促進し、質の高い介護を実現するための解決策の一つとして、ロボット・センサー等、テクノロジーの活用が期待されています。この背景を踏まえて、国や自治体により、介護現場へのテクノロジー導入を支援する取組や、テクノロジー開発を支援する取組が行われています。

しかしながら、テクノロジーを用いて介護現場における課題を解決することは簡単ではなく、解決すべき課題の優先順位付けや、オペレーションの見直し、職員のモチベーションの維持などが必要となります。さらに、課題は全国一律ではなく、気候や文化など、地域の特性に根差した課題も多数存在します。これらの課題解決を一層進めるためには、それぞれの介護現場における取組や工夫を発信、共有して、他の現場が取り入れ、応用していくことが必要です。取組や工夫の発信、共有は、同一地域における課題解決に役立つとともに、他の地域独自の課題解決にも貢献すると期待されます。

また、テクノロジー開発者が、介護現場で活用され課題の解決に繋がるテクノロジーを開発するためには、開発段階から介護現場と連携し、介護現場の真のニーズを理解することが必要です。

これらの背景を踏まえ、テクノロジーを活用した介護現場の課題解決策・より良い介護に関する介護研究の成果を東北から全国に発信すること、東北地域において、ニーズとシーズが密に連携する開発の場をつくり、地域の現場ニーズを真にとらえた新たなテクノロジーの開発を加速することを目指し、「東北 Kaigo-Tech 実践研究会」を設立いたします。

※介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業は、地域における相談窓口の設置、介護ロボットの評価・効果検証を実施するリビングラボ（開発の促進機関）を含む関係機関のネットワークの形成、実証フィールドの整備などを行うことで、全国版プラットフォームを構築し、介護ロボットの開発・実証・普及の流れを加速化することを目指しています。

（事業 HP） <https://www.kaigo-pf.com/>

#### 【本件に関するお問い合わせ】

東北 Kaigo-Tech 実践研究会 事務局  
株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所 情報未来イノベーション本部 先端技術戦略ユニット  
担当者：山内、太刀川、平良、足立  
TEL : 03-5213-4171（代表） メール：plat2020@nttdata-strategy.com